

<p>養護</p>	<p>【生命・情緒】          4月、クラスが変わり生活の流れも変わりましたが、特に戸惑う様子はなく過ごすことが出来ていました。手洗いうがい、歯ブラシ等の生活習慣、身の回りのことについては、日々声を掛けていくことで身につけていきました。一方で、年少児ということで、身の回りのことはできることが多いものの、まだ甘えたい気持ちがあったり、自己主張が強くなったりする姿がよく見られました。子ども達の気持ちを受け止めながらも、いけないことはいけないとしっかり伝え、どうすればいいのかという話をしてきました。まだ、自分の気持ちをうまくコントロールできないことがあります。話をしていくことで少しずつ上手に関わることが出来るようになってきています。</p>
<p>教育</p>	<p>健康・環境…一年を通して、本当によく体を動かして遊んでいました。「寒いから、暑いから」と、外に行くことを嫌がる姿はなく、天気の良い日は外で遊び、季節を肌で感じる事が出来ました。生活の流れについては知りながらもお友達との遊びが継続されることがよくありました。その時は時間を示し、切り替えて自分で見通しが持てるように声を掛けるようにしました。</p> <p>人間関係・言葉…竹組になり、たくさんの言葉を吸収し、お友達同士のやりとりが一段と増えました。以前は複数人で遊んだり玩具を貸したりすることが難しく、「やーだーよー」の声が多く聞かれましたが、今では少なくなり、一緒に仲良く遊ぶ姿がたくさん見られます。ですが、まだまだトラブルもつきものです。お友達の気持ちまで考えることがなかなかできず、自分の思いばかりになってしまうことで言い方が強くなったり、カブクになったり。その都度全体や個人で話をし相手の気持ちに気付くよう接してきました。また、思いやりのある行動ができるように言葉掛けをしています。</p> <p>表現…季節の歌に親しみ、生活の中で歌う子ども達の姿が見られました。歌えなかった歌も繰り返し聞くことで覚え、「〇〇歌おう」等とリクエストすることもありました。また、折り紙は興味を示さないことが多かったのですが、何を作るのかどうやって作るのかクイズ形式にして興味を持ってもらうことで、自分でもやってみようと意欲的に取り組めるようになりました。自分で考えて貼ったり描いたりすることも楽しみました。</p>
<p>食育</p>	<p>給食では、好き嫌い（特に野菜や魚）があり、食べることに時間がかかっていました。ですが、量を減らしてみたり、“食べたら強くなれるよ”等の声掛け、食べられたときに褒めていくうちに、少しずつ自分で食べる姿が見られるようになりました。今では、苦手なものは先に食べるよう声掛けをするだけで決められた時間内に完食できています。食事マナーについては、イスの座り方、お皿・箸の持ち方、三角食べ等が正しく出来るように声を掛けてきました。なかなか身につかず、声を掛け続ける日々でした。まだ足が横に出まったり、お皿を持つことを忘れてしまったりすることがありますが、意識して食事出来るようになりました。初めてのなかよし菜園での野菜作りは、毎日の水やり・観察を通して、育てる楽しさや、喜びを感じる事が出来ました。</p>
<p>その他</p>	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症拡大のため、制限のある中での行事開催となりました。運動会、競争心が見られない子ども達でしたが、他クラスからの刺激を受け勝ちたい気持ちが生まれたことで一生懸命な姿が見られました。発表会では、初めてのオペレッタ、お友達との距離が近いことにより、おふざけモードが抜けられない姿が見られました。ですが、日々の取り組みはどれも意欲的で、お友達と取り組む楽しさ、見てもらう喜びを感じ、自信もついたのでないかと思えます。</p> <p>竹組の担任をさせていただき、保護者の方々と共に近くで子供たちの成長を見ることが出来うれしく思います。松組さんになってより多くのことを経験し、さらに成長した姿を見られることを楽しみにしています。一年間、ご理解、ご協力ありがとうございました。</p>